

令和6年度鳥取県西部保健医療圏地域保健医療協議会(健康づくり部会) 報告書

- 1 日 時 令和7年2月20日(木) 午後1時30分から3時まで
2 場 所 西部総合事務所3号館1階第31会議室及びWeb開催
3 出席者 合計23名 (委員10名(全11名中)、市町村7名、事務局6名)
4 内 容

概要(主な話題)

- 西部圏域の健康づくり事業について、無関心層を含めたアプローチについて協議を行い、委員から以下の意見をいただいた。
- ・子どもの頃からの啓蒙が大切。
 - ・スーパー等と連携し、健康に配慮した総菜を置くなど、本人が気づかぬうちに健康な行動がとれる環境づくりが大切。
 - ・健康づくりに取り組んだ個人に対して、市町村によってはポイント付与等のインセンティブを与えている。このように個人に対するインセンティブがあると良い。
 - ・地域で健康づくり活動をしている方の力は大きい。地域の友達同士やご近所さん同士の関係の中で、声かけや口コミがあると無関心層へも伝わりやすいのではないか。
 - ・各市町村内が市町村内にある一般診療所、歯科診療所及び薬局等と連携していくことも重要。

(1)鳥取県西部保健医療圏地域保健医療協議会(健康づくり部会)の部会長と副部会長の選任

互選により、部会長に天野委員、副部会長に米田委員が選任された。

(2)報告事項

①県の取組みについて **資料1～5**

- ・鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）の概要説明、協会けんぽ鳥取支部と鳥取県が連携して実施している「健康経営マイレージ事業」等の説明を事務局から行った。

②市町村の取組みについて **資料6**

- ・市町村が実施している健康づくり事業のうち、「特に力をいれていること」「悩んでいること、困っていること」を中心に市町村から説明。いくつかの市町村から、健康づくり関連の教室等に来てもらいたい人になかなか来てももらえないといったような悩みがあげられた。

③その他の取組みについて **資料7**

- ・経済産業省が実施している「健康経営優良法人制度」について事務局から説明した。

(3)協議事項

西部圏域の健康づくり事業について(無関心層を含めたアプローチについて) (○:委員からの意見)

- 市町村によっては、一般診療所、歯科診療所及び薬局等と一緒に連携して事業を進めており、ぜひ、医療者側にも声かけていただけたらと思う。
- 子どもの頃から啓蒙すれば、健康関連事業にも参加される方が増えるのではないかという気がする。
- 無関心層への働きかけについて、地域で活動しておられる方の力は大きいと感じている。
地域のお友達同士の関係の中で、「こうするといいんだよ」等声かけがあると伝わりやすいのかなと思う。
- 特に若い方については、健康に関することが身近なことでもないため、なかなか伝わりにくい。若い人はスーパーで総菜を買ったりすることも多いのではないかと思う。例えばスーパーで健康に配慮した総菜があるといいのではないかと感じる。県として全体で取り組んでいただけたらと思う。
- 例えば「子ども応援パスポート」のように健康づくりに取り組んだ場合に何パーセント引きになる等個人に対するインセンティブがあるとよいと思う。
- 個人に対するインセンティブが必要だと思う。無関心層への働きかけは難しい部分もあるが、今回の会議でヒントがでたと思う。気づかぬうちに健康な行動がとれるといった環境づくりは大切であり、関係機関同士の連携、ご近所さん等身近な人からの口コミも大切。

(4)閉会